

# 国際シンポジウム

## ”経済協力”による被害を繰り返さないために――

### 国際協力銀行の環境ガイドラインへ NGO と現地からの提言

日時: 12月3日(日) 10:00-17:00

場所: 早稲田大学国際会議場第3会議室

(JR 高田馬場駅 15分・地下鉄早稲田駅 3分・裏面の地図参照)

日本の経済協力によって途上国で推進される開発プロジェクトが、現地の人々や環境に被害を与える事例は、これまで何度も繰り返されてきました。その原因は多角的に検討されなければなりません。問題を防ぐ方法の一つとして、実施機関である国際協力銀行(JBIC)の環境ガイドラインを強化する作業が進められています。このガイドライン策定に向けて、NGO は独自の調査・研究に基づき、具体的提言を行う準備を進めています。本シンポジウムではフィリピン、インドネシア、タイからの現地報告や識者によるコメントを交えて JBIC 支援プロジェクトの環境・社会配慮のあり方を検証し、望ましい社会・環境ガイドラインについて議論を行います。

(10:00-12:00)

λ JBIC

サムットプラカン下水処理場(タイ)、サンロケ多目的ダム(フィリピン)、ルヌダム(インドネシア)

13:00-15:30

λ

λ

---NGO

λ

15:40-17:00

λ

\*プログラムは変更の可能性があります。

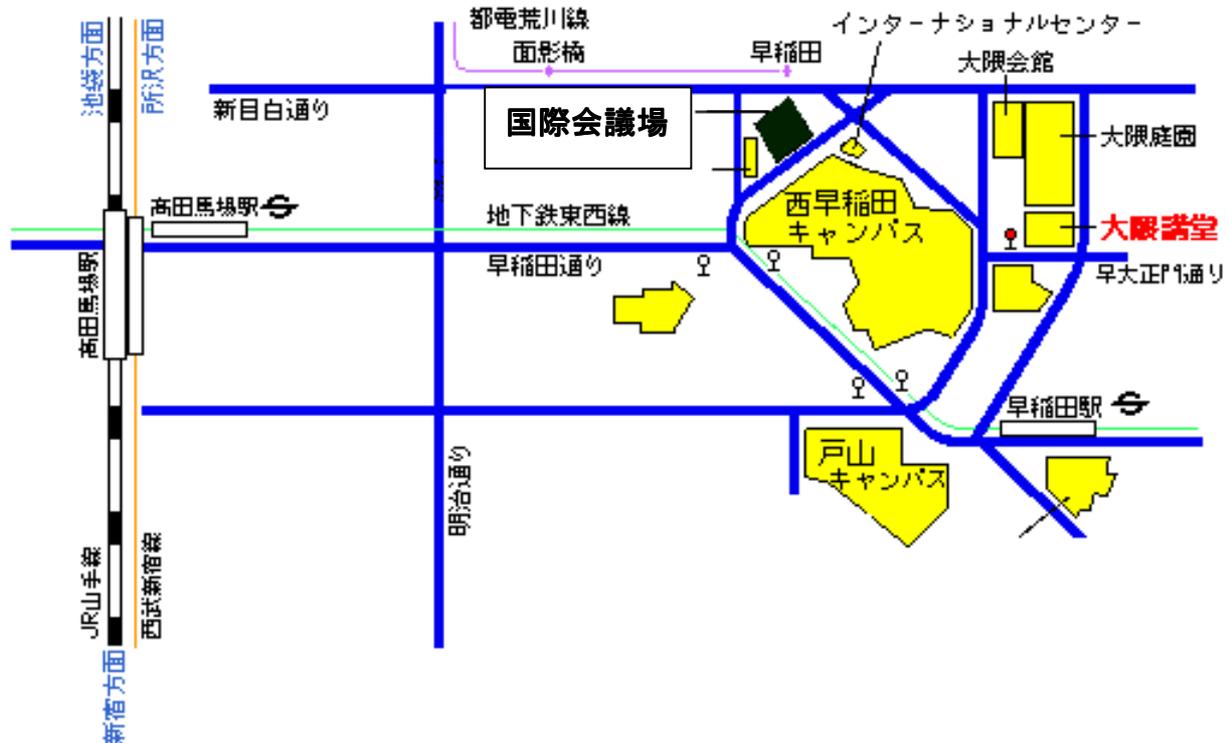
参加費 ¥1,000(会員は¥800)

申込み・問い合わせ: 地球の友ジャパン

Tel: 03-3951-1081 E-mail: [motoyama@foejapan.org](mailto:motoyama@foejapan.org)

ホームページ: <http://www.foejapan.org/aid>

## 会場：早稲田大学国際会議場第三会議室



### 国際協力銀行 (JBIC)と環境ガイドラインの策定について

国際協力銀行は、旧日本輸出入銀行および旧海外経済協力基金(OECF)が昨年統合して設立された、年間予算3兆円を上回る世界最大の開発金融機関。旧 OECF の扱う資金が ODA 資金であり、旧輸銀は OOF(その他政府資金)を扱っている。

現在、環境ガイドラインは旧輸銀と旧 OECF が統合前に策定したものを引き続き併用しているが、基本的に統一の環境ガイドラインを来年中には策定することが決まっている。統合環境ガイドラインの策定に向けた検討作業は、NGO や環境専門家、関係省庁を含む独立の研究会で行われている(ホームページは近日中に立ち上げの予定)。

詳しくは<http://www.foejapan.org/aid/jbic01/index.html>をご覧ください。